

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 豊 里 小 学 校

児童数

96

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.13	19.00	30.00	38.96	44.49	9.26	148.81	20.74	51.33
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	15.08	15.46	31.64	37.10	35.69	9.65	133.68	13.13	50.47
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

結果の概要

男女ともに、体力合計点は大阪市・全国平均を下回っているが、過去3年間の結果を比較すると、男子は、過去3年間緩やかに上昇を続け(48p→50p→51p)、大阪市平均との差は一番小さくなった(差1.3p)。女子は3年間大きな変化は見られない(50p→51p→50p)が、大阪市平均との差は大きい(差3.8p)。

男子が大阪市平均を上回っているのは、「50m走」と「立ち幅とび」の2項目で、「50m走」は全国平均も上回っている。女子は、残念ながら大阪市平均を上回った項目はない。しかし、2年続けて、大阪市平均との差が20cmあった「立ち幅とび」は、大阪市平均には届かなかったものの、女子もその差を一気に10cm弱に縮め「50m走」「ソフトボール投げ」は大阪市レベルに近づいた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

成果

・昨年度に引き続き、運営に関する計画の健康・体力の保持増進の中で、体育的活動を充実させ、「なわとびギネスや耐寒かけ足などの取り組みを通して、休み時間に体を動かす習慣を身につけるように促す」を位置づけ、学校生活の中で運動に親しむ機会を増やすことにより運動好きの児童が増えてきた。また、「なわとびギネス」や「かけ足タイム」に加え、新たに作成した運動強化月間の「豊里サーキット」で、児童は楽しみながら着実に体力をつけてきている。

課題

・「運動に対する苦手意識」は児童の中にはないが、それが運動能力の向上に結び付いてはいない。現実の高い壁(大阪市や全国平均)をしっかりと目標ととらえ、意欲を持って楽しみながら身体を鍛え、結果として児童の運動能力を向上させる取り組みの工夫が必要である。また、運動強化月間の「豊里サーキット」は、学年によって取り組む姿勢や取り組む内容の違いなどがあり、定着し、十分に機能したとは言えず、来年度はどの学年も統一して行っていく必要がある。

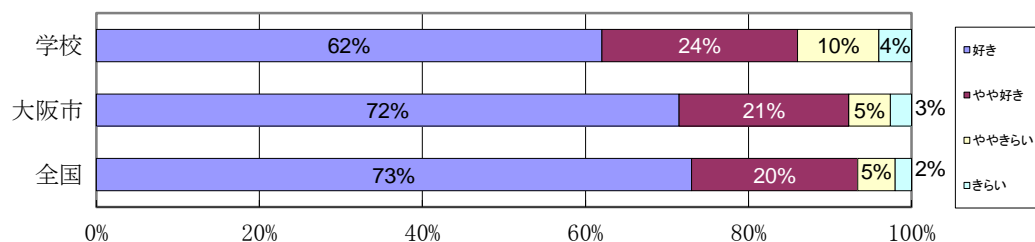
運動やスポーツについて（男子）

質問
番号

質問事項

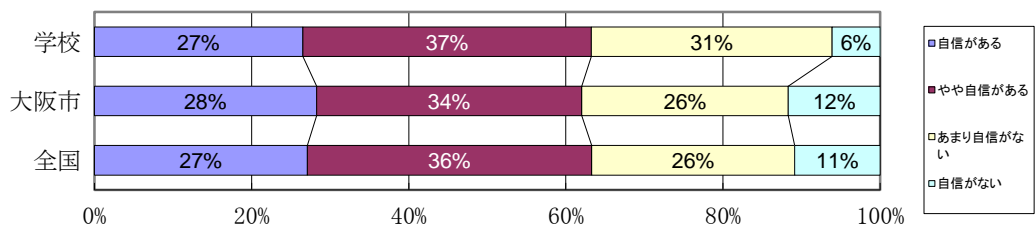
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



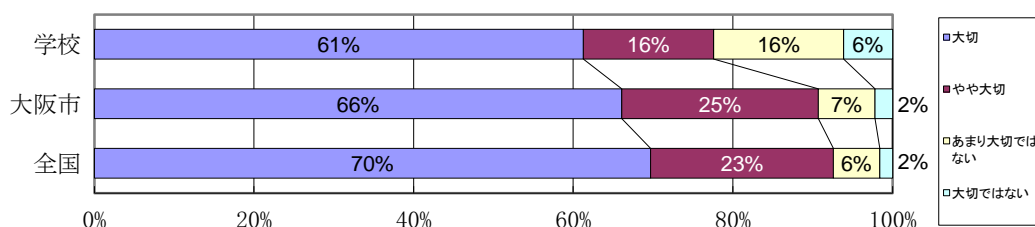
3

自分の体力に自信がありますか



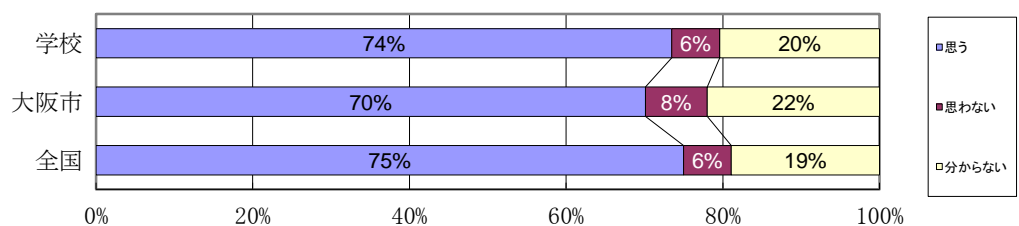
4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

・「運動をすること」が好きだと応える児童の割合が、過去3年間で初めて大阪市平均を下回った。また、女子と同様、「運動は大切ですか」の回答も大阪市平均を下回り、運動はさほど重要視していないことがわかるが、「自分の体力に自信がありますか」という質問への回答は、全国を上回り、中学校へ進学後の「運動時間の確保」も、大阪市平均を上回っている。

今後の取組

・「運動すること」に対する意識と、その能力（結果）とが全く結びついていない。子ども達の運動に対する肯定的な意識を高く評価しながら、標準レベルに近づける数値的な目標の提示と「運動すること」の意義を児童にしっかりと伝える必要性を強く感じる。

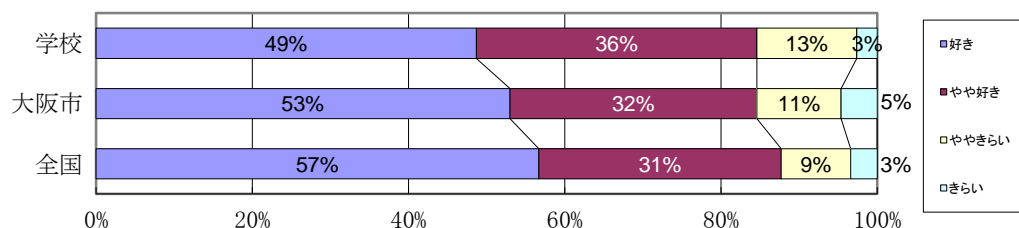
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

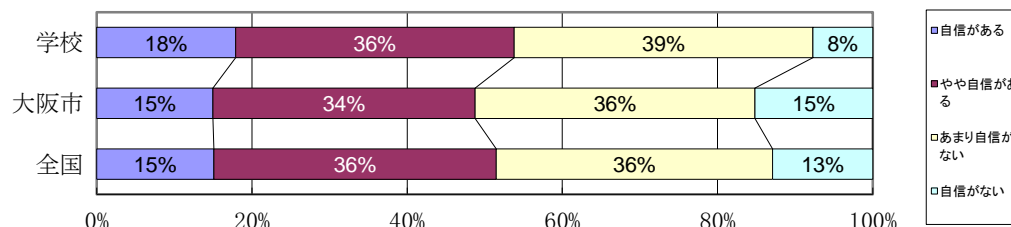
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



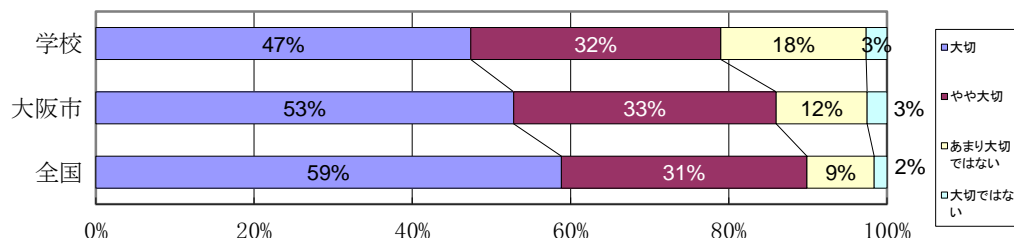
3

自分の体力に自信がありますか



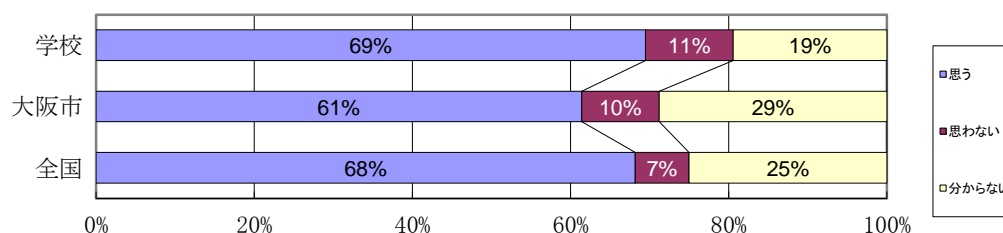
4

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

・昨年と比較すると、「運動することが好き」とこたえる児童が9pも下がったが、まだ大阪市平均を上回っている。、「運動は大切ですか」の回答が大阪市平均を下回り、運動はさほど重要視していないことがわかるが、「自分の体力に自信がありますか」という質問への回答は、全国を上回り、中学校へ進学後の「運動時間の確保」も、全国を平均を大きく上回っている。

今後の取組

・男子と同様「運動すること」に対する意識と、その能力(結果)とが全く結びついていない。子ども達の運動に対する肯定的な意識を高く評価しながら、標準レベルに近づく数値的な目標の提示と、「運動すること」の意義を児童にしっかりと伝える必要性を強く感じる。

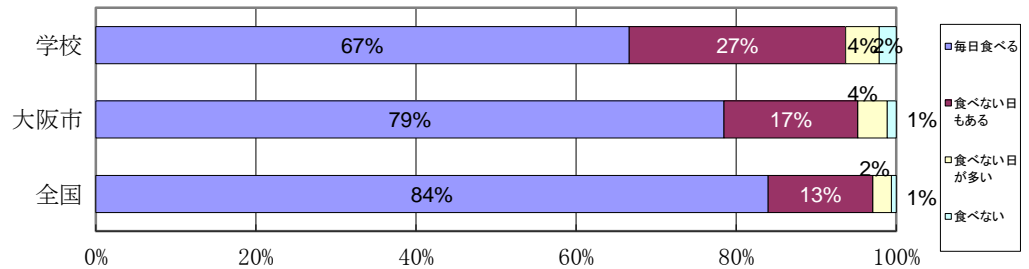
ふだんの生活について（男子）

質問
番号

質問事項

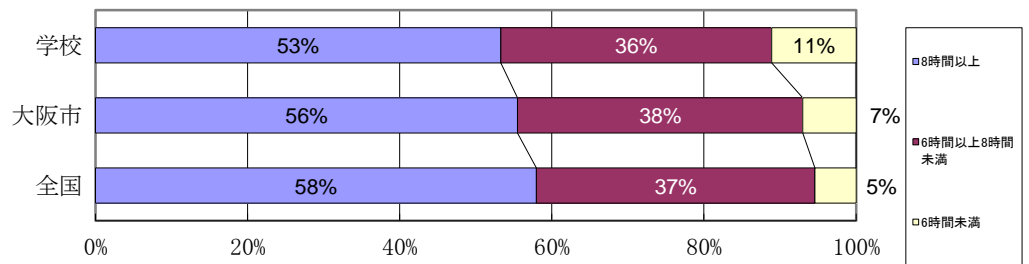
7

朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



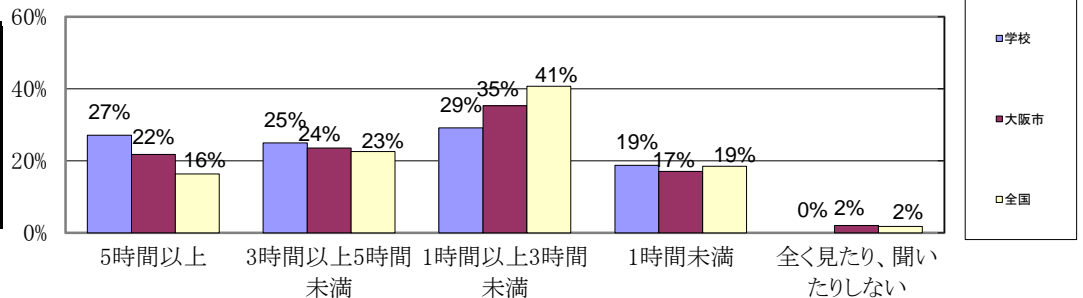
9

毎日どのくらいねていますか。



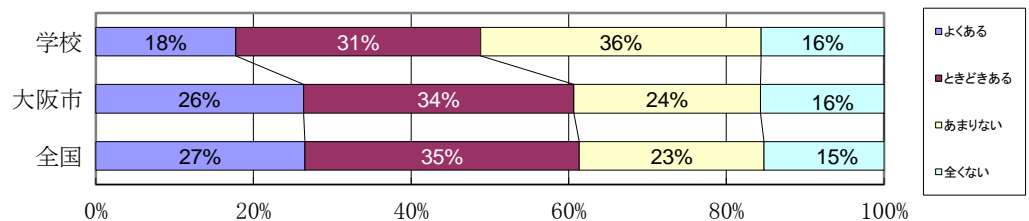
10

ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)



13

家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることがありますか



成果と課題

・「朝食を食べている」児童の割合は、大阪市平均よりも低く、これは夕食(未掲載)も同様の結果となった。また、毎日の「睡眠時間」も大阪市平均を下回った。「1日のテレビ等視聴時間」は3～5時間25%、5時間以上27%で、大阪市・全国平均とともに大きく上回っている。また、「家族からの運動の勧め」も大阪市・全国平均を下回り、全児童の半数に満たない。

今後の取組

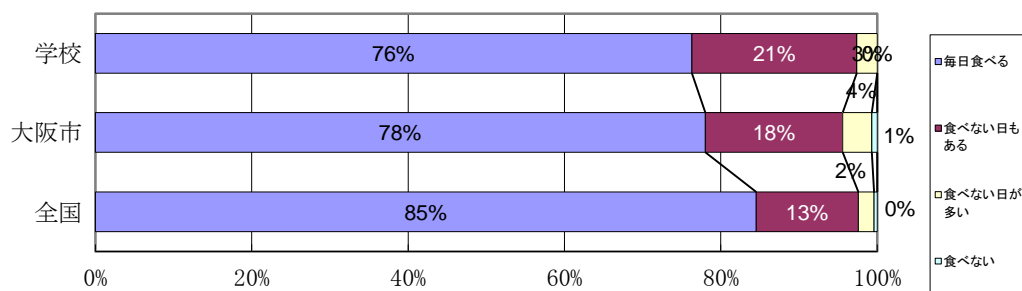
・大きな乱れはないが、女子と比較すると、食事や睡眠時間に関する基本的生活習慣が確立しているとは言えない。また、今回の調査では表れていないが、テレビ以外にもスマホやインターネットの時間が1日の生活時間に加算されるはずで、テレビの5時間以上が27%というのは大きな問題である。運動に関しての、「家族からの積極的な勧め」が少ないことと併せて、家庭や保護者としてしっかりと連携した家庭生活の指導の必要性を実感する。

ふだんの生活について（女子）

質問番号 質問事項

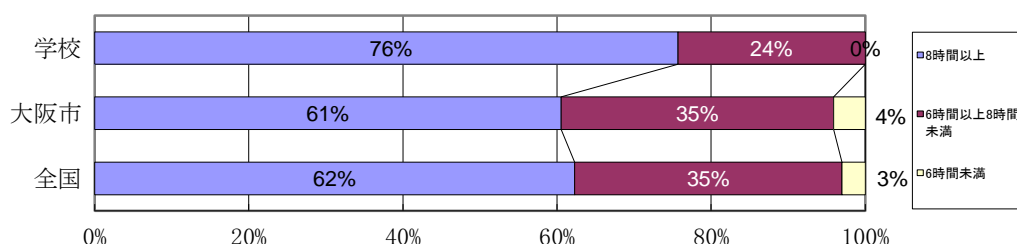
7

朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



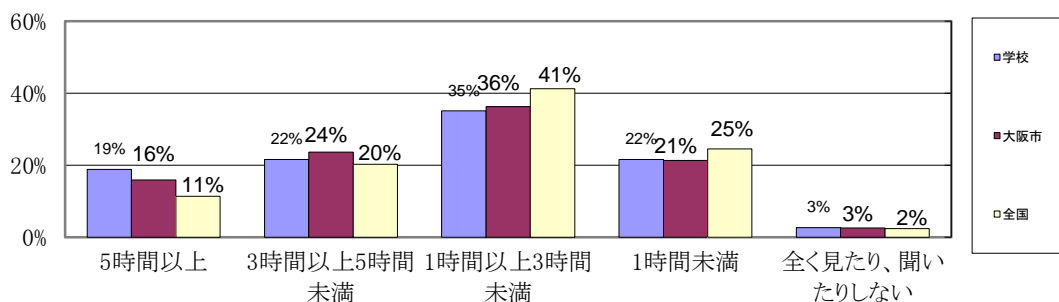
9

毎日どのくらいねていますか。



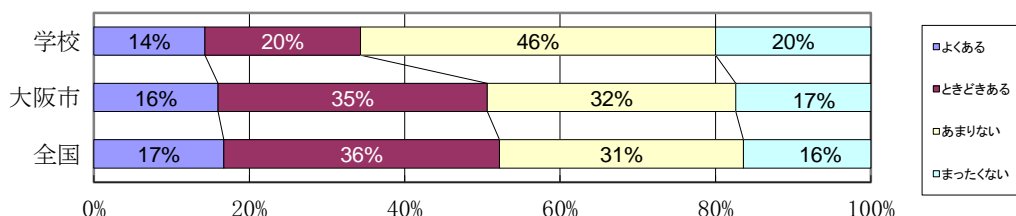
10

ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)



13

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられることはありますか。



成果と課題

・「朝食を食べている」女子児童の割合は、大阪市平均を上回り、夕食(未掲載)に関しては肯定的回答が100%、毎日の「睡眠時間」は大阪市・全国平均を大きく上回り、6時間以上の睡眠時間も100%という結果になった。「1日のテレビ等視聴時間」は5時間以上19%で大阪市・全国平均より多いが、3～5時間は22%大阪市平均を下回っている。ただ、「家族からの運動の勧め」は男子同様、大阪市・全国平均を下回り、全児童のわずか34%にすぎない。

今後の取組

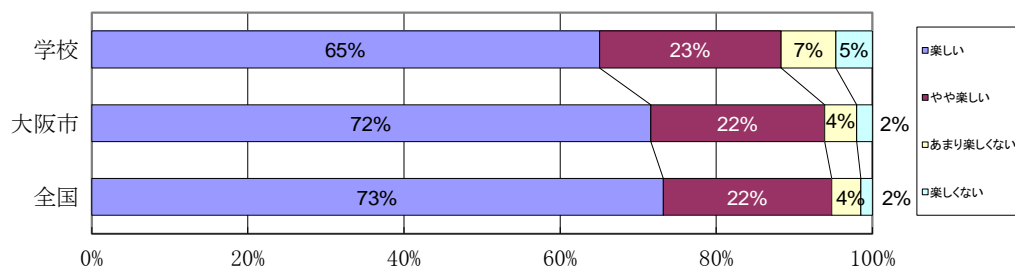
・男子と比較すると、食事や睡眠時間に関する基本的生活習慣は十分に確立されている。ただ今回の調査では表れていないが、テレビ以外にもスマホやインターネットの時間が1日の生活時間に加算されるはずで、テレビの5時間以上が20%近いのは大きな問題である。運動に関しての、「家族からの積極的な勧め」が少ないことと併せて、家庭や保護者としっかりと連携した家庭生活の指導の必要性を実感する。

体育の授業について（男子）

質問 質問事項

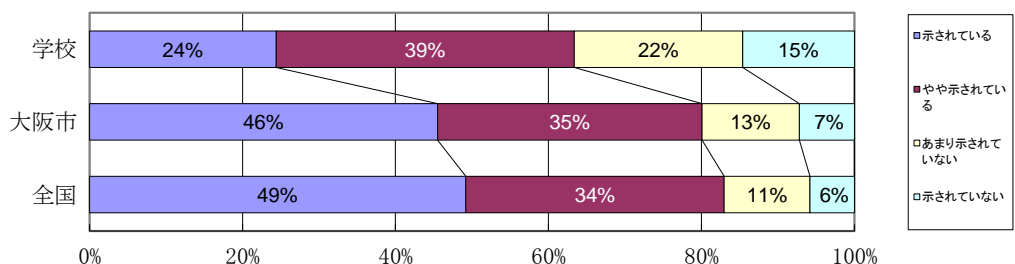
17

体育の授業は楽しいですか。



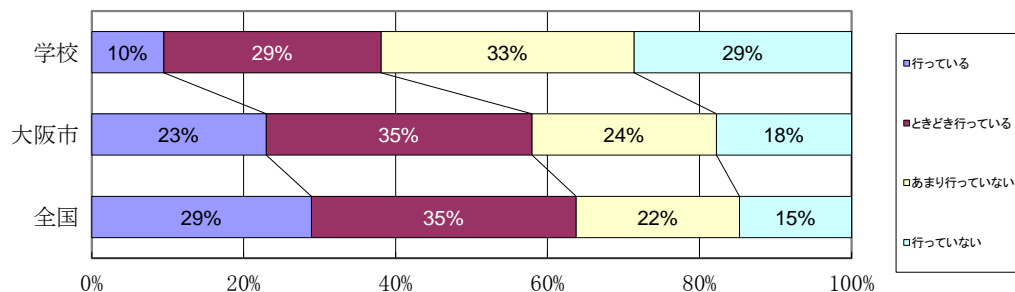
18

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



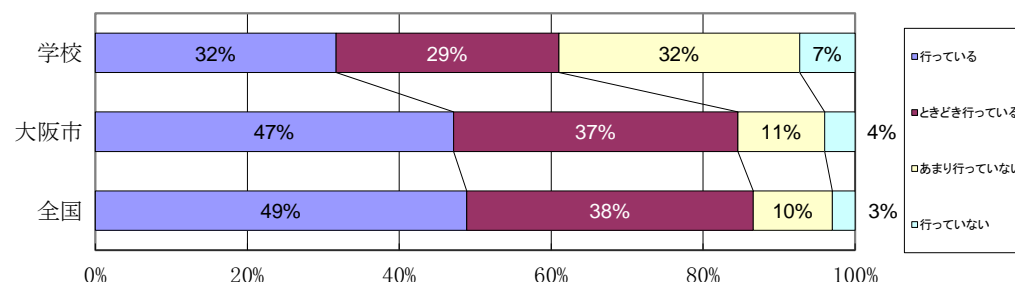
19

ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



20

ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題

・「体育の授業は楽しい」と感じている児童は90%近いが、大阪市・全国平均は下回っている。また、普段の授業の中で、「目標設定」や「授業の振り返り」が行われているとこたえた児童は残念ながら、大阪市・全国平均を大きく下回った。また、普段の体育の授業で、「話し合う活動をおこなっているか」(未掲載)という項目には、80%の児童が話し合っていると回答しているが、「友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っているか」の項目に、固定的顔等を下には60%ほどにとどまった。

今後の取組

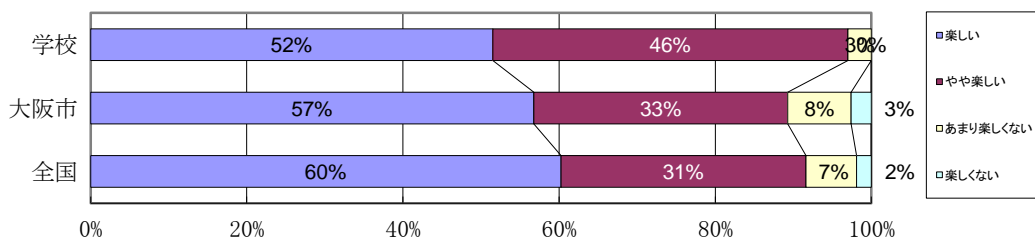
・他の教科指導で行われている「めあて」の設定や授業の「ふりかえり」が体育の時間に関しては十分に行われていないことを反省し、児童が目的をもって体育の授業に取り組み、活動の反省ができるよう、その時間の「めあて」の提示や終了時の「ふりかえり」を全校で共通して行うように努める。また、しっかりと身体を動かし、健康を維持することが、将来の自分たちにどれだけ大切かを合わせて指導するように努める。

体育の授業について（女子）

質問 質問事項

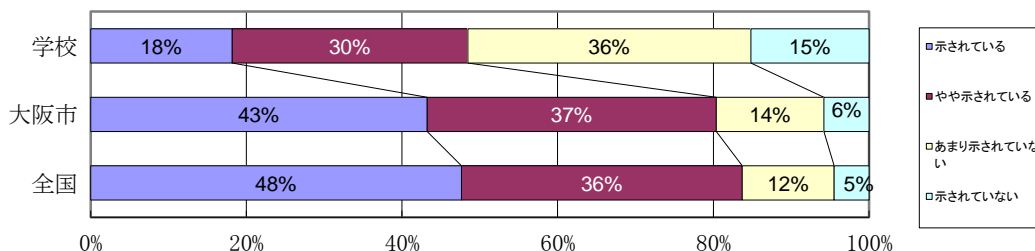
17

体育の授業は楽しいですか



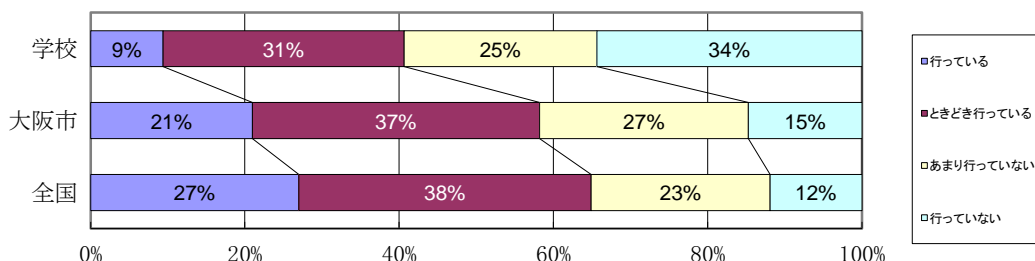
18

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



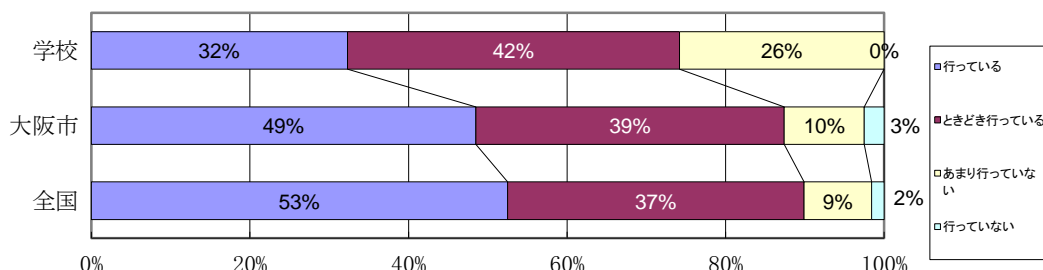
19

ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



20

ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題

・「体育の授業は楽しい」と感じている児童は98%で、男子とは異なり大阪市・全国平均を大きく上回っている。ただ、普段の授業の中で、「目標設定」や「授業の振り返り」が行われていると回答した児童は男子同様、大阪市・全国平均を大きく下回った。また、普段の体育の授業で、「話し合う活動をおこなっているか」（未掲載）と、「友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っているか」の項目の回答には男子のような差がなく74%の児童が肯定的にこたえた。

今後の取組

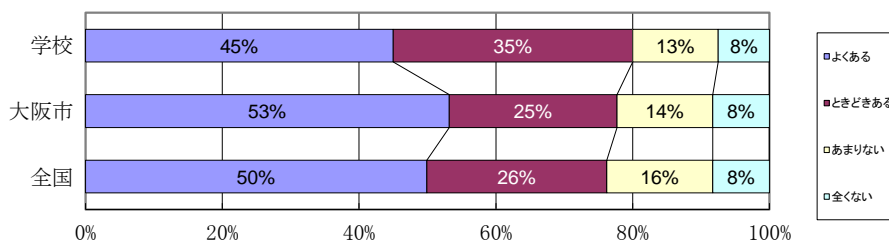
・他の教科指導で行われている「めあて」の設定や授業の「ふりかえり」が体育の時間に関しては十分に行われていないことを反省し、児童が目的をもって体育の授業に取り組み、活動の反省ができるよう、その時間の「めあて」の提示や終了時の「ふりかえり」を全校で共通して行うように努める。また、しっかりと身体を動かし、健康を維持することが、将来の自分たちにどれだけ大切かを合わせて指導するように努める。ただ、同じ授業でありながら、「体育の時間は楽しい」と感じる男女差には継続的な検討の余地がある

その他（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

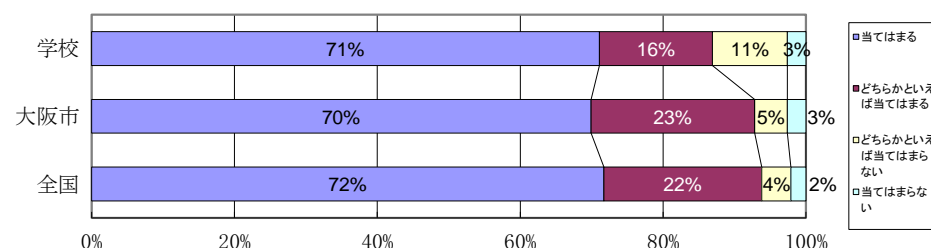
25

放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



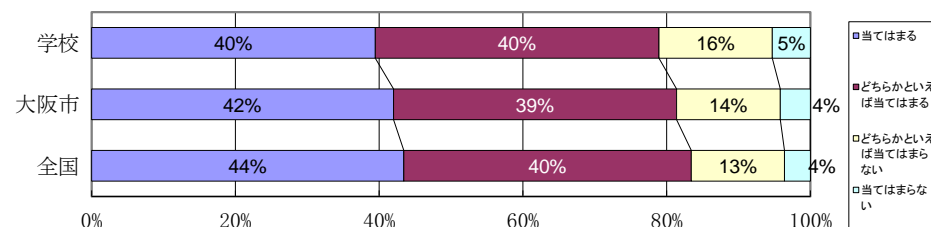
31

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



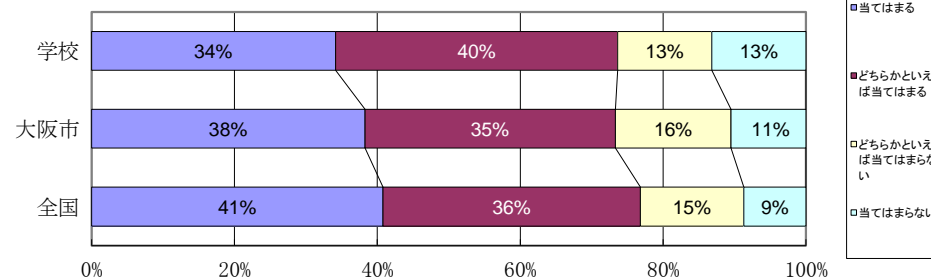
32

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している



33

自分には、よいところがあると思う



成果と課題

・放課後や休みの時の「ボール遊び」は、大阪市・全国平均を上回っている。「やり遂げてうれしい」という成就感や達成感、「失敗を恐れずに挑戦する」チャレンジ精神は、高い肯定的回答率だが、大阪市・全国平均を下回る結果となった。ただ、今年度、学校目標に掲げた「自分には良いところがある」という自己肯定感は74%と、全国平均には及ばなかったが、大阪市平均を上回った。

今後の取組

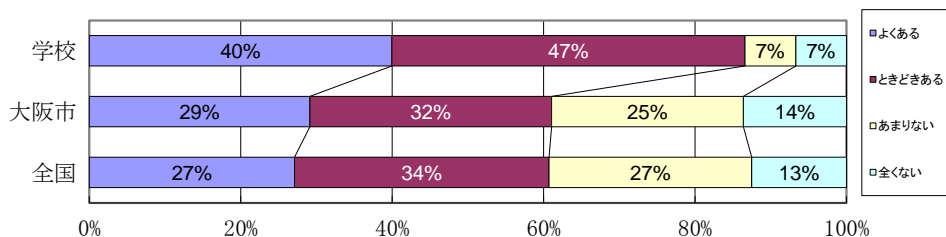
・「ボール」を使ってのスポーツは比較的定着しているが、「鉄棒やうんてい」(未掲載)となると35%と、一気に大阪市・全国平均を下回る。学校外で活用できる施設も少なく、「豊里サーキット」などのサーキットメニューの中にも「鉄棒やうんてい」などのメニューを積極的に取り入れるよう工夫する。また、チャレンジ精神を鼓舞するような取り組みを行うことにより、子ども達が成就感や達成感を味わい、自分自身の良さを認めることができる、豊かな心のはぐくみに継続して尽力する。

その他（女子）

質問
番号 質問事項

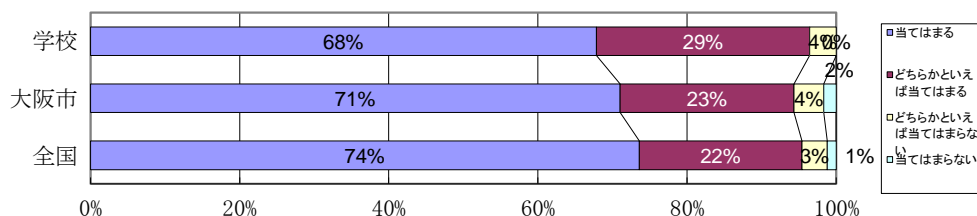
25

放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



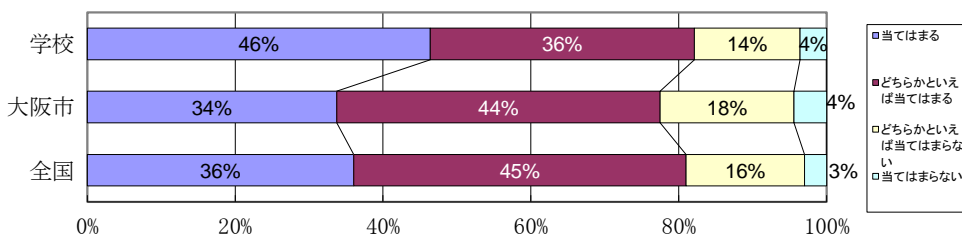
31

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



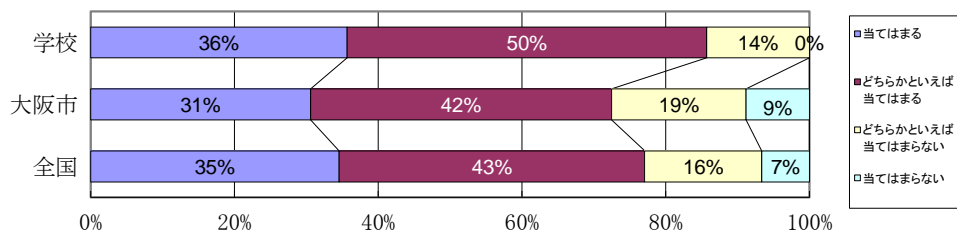
32

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している



33

自分には、よいところがあると思う



成果と課題

・放課後や休みの時の「ボール遊び」は、87%と大阪市・全国平均を25%以上上回っている。「やり遂げてうれしい」という成就感や達成感97%、「失敗を恐れずに挑戦する」チャレンジ精神は82%と、いずれも大阪市・全国平均を上回っている。、合わせて、今年度、学校目標に掲げた「自分には良いところがある」という自己肯定感86%と、大阪市平均はおろか全国平均を大きく8%も上回った。

今後の取組

・「ボール」を使っているスポーツは比較的定着しているが、「鉄棒やうんてい」（未掲載）となると30%と男子より低く、一気に大阪市・全国平均を下回る。学校外で活用できる施設も少なく、「豊里サーキット」などのサーキットメニューの中にも「鉄棒やうんてい」などのメニューを積極的に取り入れるよう工夫する。女子の方が精神的な側面での肯定的回答が多いが、さらに、チャレンジ精神を鼓舞するような取り組みを行うことにより、子ども達が成就感や達成感を味わい、自分自身の良さを認めることができる、豊かな心のはぐくみに継続して尽力する。